

日 程

9:20 9:40 10:20 10:40 12:10 13:30 16:30

受付	開会行事	特別報告	記念講演	昼食	分科会
----	------	------	------	----	-----

記念講演



『子どもたちにいきいきとした放課後を
～学童保育のあゆみと今
＜そして未来＞』
石原 剛志
(静岡大学大学院教授)

<プロフィール>

1969年愛知県生まれ。家族は、保育園で働くパートナー(元・学童保育指導員)、小5と中2の息子たち(ふたりとも学童っ子)。
現在、静岡大学大学院教授。名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程を満期単位取得退学後、長野大学講師・助教授などを経て、現職。日本学童保育学会理事。学生時代と大学卒業後1年間非常勤職員として、名古屋市内の学童保育所で働いたことが学童保育の研究を志そうとしたきっかけ。『日本の学童ほいく』2017年10月号から2018年3月号まで「学童保育を求め、つくってきた人々 学童保育の歴史から学ぶ」を連載執筆。その他、学童保育に関する著書に、『学童保育と子ども・子育て新システム』(かもがわ出版、2011年、共著)、『テキスト「学童保育士・基礎」カリキュラム』(日本機関紙出版センター、2018年、共著)など。

分科会 13:30～16:30

■テーマおよび内容

	テーマ	分科会内容	助言者
1	災害！子どもたちの安全を守るために	近年様々な地域で自然災害が起きています。今やどこで起きてもおかしくない状況…子どもたちの命を預かっている学童保育として、そんな思いもよらない事態に対処するために、準備しておくもの、検討しておくこと、マニュアル作成などを考え合う。体験報告:熊本県益城町(福岡支援員・杉山支援員)	福岡県連役員
2	学童保育と保護者会	働きながら子育てしている保護者、毎日が精一杯！学童保育の保護者会！なぜ必要なの？なぜ関わらないといけないの？共同の子育てってなに？共に子育てしようと思える保護者会になるために…保護者・支援員と一緒に考えましょう！	石原剛志 (静岡大学大学院教授)
3	行政と学童保育	学童保育は、国の新制度により大きく変わりつつあります。児童福祉法をはじめ新たに国から示された「放課後児童クラブ運営指針」を学童保育運営の基本とすることが求められています。こうした中で、各地の実態と課題を交流し、公的責任を明らかにし、行政への働きかけや運営・運動の課題を学びあいます。また、民間企業が指定管理者となる自治体も生まれており、学童保育運営のあり方を考えることが重要な課題となっています。	森元茂利 (福岡県連事務局長)
4	子ども理解と保護者との関係	子どもの理解、保護者との関係に悩んでいる多くの支援員…。今を生きる私たち(保護者と支援員)のつながりをよみときながら、子ども理解・保護者との協働について考える。	藤田勝博(福岡県人権同和教育研究協議会)
5	発達障害の子どもが居やすい場所にする為に	発達障害はひとりひとり違います。その為にトラブルを起こすことも…。私達支援員はどのように接したらいいのか、又他の子ども達とどのように関わらせたらいいのか。支援員のここが聞きたい、保護者のここが知りたい、をみんなで考え学ぼう。	佐藤久住 (大分県連協会長)
6	子どもたちはこんなことで困っています —感覚統合のみかたから—	感覚統合を知ろう！人間の行動は実は多くが反射的なのだそうです！行動を決定していくには、環境や自分の体から生じる感覚が重要な役割をはたしています。特に、五感(触覚、視覚、聴覚、味覚、臭覚)に加えて、固有受容覚(手足の状態、筋肉の伸び縮みや関節の動きを感じる感覚)、前庭覚(身体の動きや傾き、スピードを感じる感覚)といった合計7つの感覚が重要です。次々と身体に感じる(あるいは感じない)これらの感覚を目的に応じて処理して行く過程が感覚統合です。この仕組みを知ることで、子どもたちの行動に対する見方が「困った」から「なるほど」に変わるかも！！	古野優子 (作業療法士)
7	子どもの権利条約 ～あらためて学び、今こそ活かそう！～	子どもの権利条約が国連で採択されてから30年が経ちました。 子どもたちの「自由な時間」と「遊び」を保障するために、大人にできることはなにか？一緒に考えましょう！	山下雅彦 (東海大学九州キャンパス教授)
8	今後の学校教育の動向と取り組み、学童保育のかかわり	平成32年4月から小学校で新学習要領が全面実施されることになっています。これから求められる力とはどんな力でしょうか。激変する社会を生き抜く子どもたちをどのように育てていくのか？外国語教育のこれからを中心に今後の学校教育、学童保育の在り方について一緒に考えていきましょう。	塚本達也 (うきは市教育委員会)
9	あそびの広場 (大人先着30名まで)	「ヤバイ！！今、〇〇中」子どもたちと実際にあそびながら「〇〇」を見つけていきましょう！！	あそひろスタッフ
10	子どもとメディア ～スマホ・ゲームはみなさんの〇〇を邪魔しています～ (先着70名)	今日、子どもの基本的な生活習慣の乱れや、体力や学力、自尊感情やコミュニケーションの力などいけば、人間としての基礎的な力の弱まりが問題となっています。その大きな要因の一つが、テレビやゲーム、ケータイ・スマートフォン(以下スマホ)やインターネット利用など、子ども期におけるメディアへの過剰(長時間)接触と考えられています。子どもが被害・加害者となるネット犯罪増加の要因にもなっており、その予防や対応策についての取組が課題となっています。豊かな子ども期を過ごすために、メディアとの上手な付き合い方を考え合しましょう。	是石尚子 (NPO法人 子どもとメディア)
11	子どもの荒れと内面世界 (先着60名)	子どもの荒れは一人ひとり様々な背景や発達の個人差が交じり合っって難しい問題です。そんな子ども達にも学童保育で安心して生活を保障してあげるには何が必要でしょうか。荒れとして現れる子どもの行動も内面を探ることで、その意味が明らかになってきます。今日の子どもをめぐる状況を明らかにして、子ども理解を深めることの大切さや子育て支援を学びます。	米沢久美子 (元小学校教諭)
12	食物アレルギーの知識と対応の仕方	近年増加している子どものアレルギー疾患についての正しい知識と、学童保育でのおやつや食事の提供の際に起こりうるアレルギー症状に対する具体的な対応を学びます。アレルギー疾患を持つ子どもたちの安全を守るうえで欠かせない、保護者と支援員との共通理解の方法についても考えます。	岩崎七々枝 (アレルギーエドゥケーター看護師)

